

オースティン・ピー州立大学（アメリカ）

生産システム科学部 生産システム科学科 國定祈良

留学期間：2025 年 8 月～2026 年 5 月

アメリカ・テネシー州にあるオースティン・ピー州立大学に二学期間留学をしました。言葉も文化も食事ものにもかもが日本と違う環境での生活は想像以上に大変でした。日本にいては経験することがないような壁に何度もぶつかり、なんとかその壁を乗り越えようとした経験は自分自身を人として成長させることができたと感じています。

この留学で私が主体的に取り組んだことは、大学のバレーボールチームに参加したことと、現地の日本企業でのインターンシップです。

大学のバレーボールチームには、学期の初めに行われるトライアウトを受けて所属することができました。トライアウトは日本ではなじみがなかったので、アメリカっぽい経験ができてよかったです。また、スポーツを通して現地の学生と交流を深められたことで、留学初期の段階から現地のコミュニティに参加する良いきっかけになりました。バレーボールチームに参加したことで、体を動かす習慣ができ、慣れない環境での生活で溜るストレスの解消にもなりました。これから留学を考えている方は現地で勉強だけでなく、課外活動にも積極的に取り組み、日本では経験できないことをたくさん経験してほしいと思います。

現地の日本企業でのインターンシップは、日本とアメリカの働き方の違いを実際に見て学ぶことができました。また、学んでいる工学知識が実際の現場でどのように活かされているかについても、日々の業務から理解することができました。英語でエンジニアに質問をしたり、意見交換をしたりする際には、日常会話とは違った言葉選びや伝え方が必要になってくると感じました。英語といってもシチュエーションによって話し方が大きく変わってくるので、どんな場面でも対応できる力をつけていきたいです。

最後に、現代はインターネットで世界中の情報を簡単に得られる時代です。しかし、留学を通して、実際に自分の目で見て自分なりの意見をもつことの重要性を学びました。インターネットの情報が全てではないので、少しでも留学や海外に興味があるのなら、ぜひ一歩踏み出してみしてほしいです。



バレーチームの仲間たち



インターンシップ